

I 目指す学校像（基本理念）

- 松阪高等学校は、校章に象徴される「知・徳・体」の調和のとれた生徒を育成するため、校訓である「自主自律」を目指します。そのため、生徒、教職員は「志」を持ちます。
志とは、健康、社会性、知識・技能、人権感覚等を身につけた心豊かな人間性に立脚し、高い目標を掲げ、意欲的に挑戦することです。
- 通信制課程においては、生涯にわたって学び続けるため、自学自習を通して、自ら学び、自ら考え、行動する力を育てることにより、調和の取れた豊かな人間性、社会性を身につけた人材の育成を目指します。

II 現状と課題

- 単位修得率が50%前後あり、特に新入一般生の修得率が30%前後であり、学習活動が定着していない現状があります。学習習慣のない生徒が自学で取り組むのは大きな努力が必要と思いますが、添削指導の工夫、授業での指導、日常的な支援体制等のサポートを検討、研究し、単位修得率を上げる取り組みを続ける必要があります。
- 通信制の特性から生徒の日常的な把握が困難なため学習や進路指導面で十分な指導ができない状態にあり、保護者との関係も希薄になりがちです。
- この3年間の入学者の転編入生の占める割合が7割近くに増加しているが、これらの生徒を受け入れるのに十分でない体制のまま入学させている状態が続いています。学校説明会、転学許可試験のあり方、出身校への働きかけ、クラス体制等の入学後のあり方や取組等を含めて検討の必要があります。
- 働きながら学ぶ若者や社会人をはじめ、新規中学校卒業生、途中でやむなく退学した人、他の高校からの転学生など、多様な経験や生活リズムをもつ生徒が在籍しており、特に最近では社会の変化に伴い、不登校経験者や全日制になじめない生徒が増加しており、こうした生徒のニーズに応え、受け入れているが、十分な対応に至っていない現状があります。
- 通信制高校の学習システムやその学びのスタイルが、中学校・高校・地域社会などにあまり理解されていない現状があります。通信制高校の学習システムの広報に努め、ニーズにそった生徒を受け入れることが望まれます。
- 生徒の現状やニーズを考え、連携併修、平日登校講座等のシステムを取り入れている通信制高校が増えています。他府県の通信制高校の現状を把握しつつ、これらのシステムの可能性を研究、検討する必要があります。
- 広域かつ多様な生徒を受け入れていることから、学力保障の視点からも放送教育やインターネット等を利用するなど、新たなメディアやITを活用した教育方法の構築が求められており、他府県の先進的な取組をベンチマークしましたが、自校としてどう取り組むか十分な検討がなされていない現状があります。
- 高等学校再編活性化の中で定時制通信制統合のあり方も議論されていることから、本校としても生徒への影響も含めて引き続き研究していく必要があります。

III 中長期的な重点目標

1. 学習を効果的に進められるように、学習環境を整備し生徒へのサポート体制をより充実さ、単位修得率55%以上を目指します。

2. 生徒の実態やニーズ、保護者の要望を把握し、全職員で分析・検討し組織的に改善活動に取り入れた取り組みを定着させます。

3. 転入、編入に至った経過や状況を把握・分析し、受入時の体制が適切かどうか検討し、入学後のあり方や取組内容について見直し・検討します。

IV 本年度の行動計画

1. 学習を効果的に進められるように、学習環境を整備し生徒へのサポート体制をより充実さ、単位修得率55%以上を目指します。

《教科指導》

- (1) 新入生が通信制の学びを戸惑うことなく始められるように、年度当初、新入生対象の学習オリエンテーションを行ないます。また当初の授業においてもレポート指導を行い、生徒へのサポート体制をより充実させます。
- 【取組状況の指標】4月、6月にガイダンス実施します。
- 【達成状況の指標】生徒参加率80パーセント程度を目指します。
- (2) 水曜SS (self-study) が、学習支援の必要な生徒にとって有効に機能するように生徒への働きかけを強めていきます。また水曜日に都合がつかない人には、平日に来校して質問が出来ること（電話予約が必要）を全体に広めます。
- 【取組状況の指標】支援が必要と思われる生徒に広く呼びかけます。新入生教務ガイダンス（6月）、全校集会（7月）等を通じ、水曜SSの紹介や平日に来校しての質問が出来ることを伝えます。
- 【達成状況の指標】本人の意思を尊重しながら、水曜SS及び平日の質問での来校者が、月延べ10人前後になることを目標とします。
- (3) 集中補充スクーリングを実施し、基礎学力をつける取組をします。
- 【取組状況の指標】8月に集中補充スクーリングを実施する。基礎学力をつける内容の補充スクーリングにし、レポート作成が滞っている生徒への再起のきっかけをつくります。
- 【達成状況の指標】各講座の参加者数10人前後を目指します。

《生徒指導》

- (1) 授業が落ち着いて受けられるよう校内巡視を強化し、環境美化にも努めます。
- 【取組状況の指標】朝・夕それぞれ全職員が担当箇所の巡視と清掃を行い、当番制により毎時間校舎内外の巡視を強化し、授業への出席指導と共に清掃を徹底します。
- 【達成状況の指標】校内に落ち着いた雰囲気があるか。校舎内外の美化が徹底されているか。
- (2) 生徒の美化意識を高めるための呼びかけを生徒会と協力して行います。
- 【取組状況の指標】生徒集会（年3回）で啓発を行うとともに、スクーリング時放送により生徒へ教室・トイレ掃除の協力を呼びかけます。また、生徒会と協力したした行動を企画・実施します。
- 【達成状況の指標】生徒の清掃活動・美化活動への参加の増加。

《進路指導》

- (1) 1年次から進路を主体的に考える意識づくりを行い、目的を持って学習に取り組む意欲につなげます。
- 【取組状況の指標】効果的な講演会や進路別ガイダンスの実施により、生徒の意識を啓発します。
- 【達成状況の指標】参加者の満足度80%以上を目指します。
- (2) 生徒の実態やニーズ、保護者の要望を把握し、全職員で分析・検討し組織的に改善活動に取り入れた取り組みを定着させます。

2. 生徒の実態やニーズ、保護者の要望を把握し、全職員で分析・検討し組織的に改善活動に取り入れた取り組みを定着させます。

《生徒指導》

- (1) 引きこもり・不登校経験者が増加傾向にあるため、生徒の実態、ニーズ把握のため職員のカウンセリング等の能力を更に向上をさせ、自主自律を促します。
- 【取組状況の指標】カウンセリング等の向上につとめます。
- 【達成状況の指標】講習会や研修会に積極的に参加します。
- (2) 挨拶の励行に努め、生徒との対話のきっかけにつなげます。
- 【取組状況の指標】職員から生徒に対し積極的に挨拶します。

【達成状況の指標】挨拶できる生徒が増える。

《進路指導》

(1) 進路調査を実施して、生徒の進路意識の把握につとめます。

【取組状況の指標】進路調査を4, 7, 2月に実施し、分析と活用をはかり、進路指導に生かします。

【達成状況の指標】回収率80%以上を目指します。

(2) 担任と進路担当との連携の強化をはかり、生徒一人ひとりに応じた進路指導の実現につとめます。

【取組状況の指標】担任会の生徒情報交換において、進路の状況報告により情報共有と、同時に各担任の情報収集の場とします。

【達成状況の指標】月1～2回の実施を目指します。

(3) キャリア教育や受験対策等を充実させ、希望の進路実現につなげます。

【取組状況の指標】キャリア教育を充実させ、生徒の職業観、勤労観の確立を目指します。

【達成状況の指標】実施後のアンケートで満足度80%以上を目指します。

《総務》

(1) 松高通信、保護者通信を発行して、直接保護者に送付することにより保護者へ協力関係を促します。

【取組状況の指標】松高通信、保護者通信を3回以上配布します。

(2) 中学校の先生対象の説明会を行うことにより、中学生のニーズをつかみ、分析して次の活動に取り入れます。それと同時に、通信制の学びについて中学校側に理解していただくようはたらきかけます。

【取組状況の指標】説明会への参加中学校を、生徒(1年)の出身校数の半数を目指します。

【達成状況の指標】通信制の学びのシステムを広く知ってもらい、不登校生徒の改善の一つの手段として理解してもらい、また、中学校の現状を把握する場とします。

《すいしん(学校経営品質推進委員会)》

保護者対象のアンケート、在校生・卒業生対象のアンケートを実施し、分析・検討し改善活動にいかします。

【取組状況の指標】昨年度末実施した在校生対象のアンケートから分析された改善項目より最重点となるものから改善していきます。

【達成状況の指標】アンケート改善項目の最重点となったものを改善します。アンケート回収率60%をめざします。

3. 転入、編入に至った経過や状況を把握・分析し、受入時の体制が適切かどうか検討し、入学後のあり方や取組内容について見直し・検討します。

《教科指導》

転入、編入後スムーズに学習が進められるような教育課程の検討を始めます。

【取組状況の指標】生徒の実態にあったカリキュラムを模索していきます。

【達成状況の指標】カリキュラム委員会を数回開き、実態にあったカリキュラムを作成します。

《進路指導》

転入、編入生の進路希望の実態を把握・分析し、早期からの指導方法のあり方を検討します。

【取組状況の指標】進路ガイダンスの時期・内容・進め方等や、総合的な学習の時間との連携を検討します。

《総務》

学校説明会のあり方・転入生の入学試験の実施方法等を検討します。

【取組状況の指標】転入生の単位取得率等の分析を行うなどの追跡調査を行います。

【達成状況の指標】上記の調査結果を来年の学校説明会・転入試験に反映します。

《すいしん(学校経営品質推進委員会)》

転編入生の入学試験のあり方、クラス編成、行動・生活面の指導、進路指導等について、すいしんの委員会が中心になって検討を進めます。

【取組状況の指標】改善のためのオフサイトミーティングを2回以上実施します。

全職員での議論・検討を日常的に進めていきます。

【達成状況の指標】新しいアイデア、改善する仕組み、2つ以上提案します。